

●15. 選挙における啓発事業として、何かアイデアがあれば、教えてください。

- ▼スマホのアプリ活用。(平田辰治)
- ▼模擬選挙を実施する。(城間裕太)
- ▼若年層をターゲットにしたSNSの利活用。(謝敷司)
- ▼良い政治家・悪い政治家の違い。極端に良い例、悪い例をCMで見せる。(上原聖也)
- ▼学校に選挙公報のスペースなどを設置する(玉城萌子)
- ▼小・中・高に政党のポスターを貼り、子供の頃から政治を意識させる。(与那嶺翔太)
- ▼投票をした人に、何か特典をつけた方がよいと思う。(島袋裕也)

●17. 「政見発表会」をとおして感じたことや質問・要望などを自由にご記入下さい。

- ▼色々な人たちの考えがあり、そこからどうやって問題を解決するか考えさせられた(平田辰治)
- ▼もう少し質問に対する回答の時間をのばしてほしい。( )
- ▼思っていることをストレートに聞くことができよかったです。また、質問にも真剣に答えていただいたので、とても嬉しく思います。(玉城菜緒)
- ▼どの政党も同じような答えだった。(城間裕太)
- ▼もう少し質問時間が上手にまわせれば、よかったですかと思えます。(謝敷司)
- ▼もっと政党の色が出る議論にしてほしい。(上原聖也)
- ▼あんなに近くに各政党の人がいて、質問をしたり、意見を聞いたりできて良かった。普段はできないことなので(伊佐知剛)
- ▼各政党の特徴をダイレクトに感じる事ができたなと思えます。(富原琴乃)
- ▼質問タイムのとり方に工夫がほしい。(宮城沙妃)
- ▼政党の考え方を聞いて満足です。(喜友名貴弘)
- ▼議員とのディスカッション(宮良祐太)
- ▼自分のして欲しいこと、意見を直に言える。(神里雄一)
- ▼2つの題に対して、議員さんたちはそれぞれ政党が違うが基本的な考えはあまり変わらないんだと感じた。(金城里夏)
- ▼政治が身近に感じました。(島袋裕也)
- ▼ねむくならないような場づくり。かたい(屋嘉部景介)
- ▼日頃聞くチャンスがあまりないので、とても良い機会でした。(平良かおり)

●「まちづくりワークショップ」をとおして感じたことや講師への質問などを自由にご記入下さい。

- ▼せっかくマニフェストを作成したのに、アピールや質問する時間が少なかった気がするので、時間をのばしてほしい。( )
- ▼すごくよかったです。教育の面などから、小中学校でも開催していただけるといいと思います。(玉城菜緒)

- ▼同じ地図でもグループによっていろいろな考え方があった。（城間裕太）
- ▼すごくいい体験だなと思いました。（富原琴乃）
- ▼この活動をもっと多くの地域でやってほしいです。（島袋裕也）
- ▼楽しく選挙を理解することができたので、とてもよかったです。（山内宰）

●本研修についての感想をお聞かせ下さい。

▼各政党の政見を聞き、本当に様々な考えを持った方々がおり、また、住民の声を聞き、色々な意見のある中でどうやって問題を解決していくか、また、その解決策にも様々な意見があり、話し合いをしていくという流れを知ることができました。

また、選挙などで自分の考え、こうした方が良いのではないかなど、それに近い候補者に投票し、もし自分の思った考えなどが他の人たちも、同じような考えなら自分の意見もまちづくりなどに反映されていくのだろうと思いました。まちづくりシミュレーションなどでは自分の考えを言い、相手の話を聞いて、話し合い物事を進めていく事やどういうふう配置したら良いのかなど、様々な考えや立場を知ることが出来ました。今回、このような研修に参加できて本当に色々な事を学ぶことができました。ありがとうございました。（平田辰治）

▼この研修を通して、政治に関してもっと興味をもちました。さらに各6党の政党の人達の話の聞けるという貴重な体験もさせていただいたのはとてもよい経験になりました。政治家と身近になれた気がして嬉しかったです。また、直接お話をさせていただいたことにより、私達の民意が直接言えて、政治家への信頼感が高まりました。この貴重な経験を踏まえて、私自身もちゃんと選挙に行こうという気持ちになりました。

シミュレーションゲームでは、皆個々の考え方や意見があり私が気がつかなかったことやそれぞれ各々の意見を言い合うことの大切さがわかりました。こうしたシミュレーションゲームのまちづくりで、まちづくりというのがいかに大変かということがわかりました。（富村優之介）

▼今回参加した理由は「面白いワークショップがある」と聞いたからです。軽い気持ちで参加したのですが、内容はとても充実していて、多くのことを学ぶことができました。

まず、山崎さんの講座では「何故、投票率が低いのか」という所から、様々なデータや山崎さん自身の体験を通して、関心がないのではなく、政治について考えたり、話し合ったりする機会が少ないという事に気づかされました。将来教師になりたいと思っている私には、とても大切な気づきになったので、日頃から自分自身も政治について考え、山崎さんの団体の協力を得て、生徒たちに楽しく選挙や政治について考えてもらえるような努力をしていきたいと思いました。

次に政見発表会。各政党の方から直接話を聞くことができ、とても勉強になりました。同時に政党について知っているつもりで、自分が各政党の考えや方針をしっかりと理解していないことにも気づかされました。自分達の質問に丁寧に答えて下さった政治家のみなさんの様子を見て、もっと政党や政治家の方に興味を持ちました。できれば研修生の意見に対してもっと答える時間を取ってほしかったと感じました。

最後にまちづくりシミュレーションでは、受け身だったマニフェストを自分達で考えていくという体験ができました。より深く関心を持って政治に参加していきたいと感じました。今回運良く参加できたこの研修会は、とても有意義なものでした。もっと広く、この研修会の事を広めていきたいと思いました。参加できてよかったです。（〇）

▼すごくいい研修で、たくさんのことを学ばせていただきました。まず、模擬選挙についてですが、このような取り組みがなされていることを初めて知りました。中学・高校（社会科）の教員を目指す人間として、ぜひ、学校現場で活用して欲しいと感じています。また、「模擬選挙推進ネットワーク」という団体が、日頃どんな活動をしているのか、もっと詳しく知りたいと思います。

政見発表会では生でお話を聞くことができ、とてもうれしく思います。発表していただいた内容には「実現してほしい」と思うことも多くありました。特に私は、率直な意見を伝え、聞きたいと思っていたことも聞くことができたので、すごくよかったです。政党の方々も沖縄県をよくするために必死に考え動いてくれている。このことをもっと若い世代に知ってもらう必要があるのでは？と感じています。そうすることで投票率を高めることにもつながるのではないかと思います。

すべての研修内容を通して、私たち若い世代はもっとがんばらないといけないと感じました。一個人としてすごく感じました。楽しくて勉強になる研修会でした。ありがとうございました。（玉城菜緒）

▼選挙は、20歳になってから一度も欠席することなく投票に行っているが、なかなか考えて投票することが難しく大変だと思う。やはり、日々の生活に追われていると、自分の生活に関係することだと分かっているけど何か他人事のように感じてしまうからだろうか。また、社会情勢も複雑化してきており、様々な事業を考えていかないと解決ができない問題も増えている。すぐに白黒つけることができない。選挙が意見を吸い上げるベターな方法ではあるが、ベストではないことは確かだ。

今回、若い人との交渉もでき、様々な人の意見を聞くことができた。現実には、なかなか厳しいかもしれないが、みんなで話し合うことで、問題を解決することができるかもしれない。また、自分自身も日頃から勉強してがんばっていかないといけないなと感じた研修会でした。（城間裕太）

▼普段は顔を合わすことのない政党の方々の顔を直に拝見できたのが一番の経験だと思っています。文字で見る政見よりも直に聴く政見の方が何倍も心に残っております。

また、ワークショップでは、ミニゲームとはいえ、普段はすることのない街づくりについての意見交換、特に学生の皆様の生の声を聴けたことは、大きな経験となりました。

（謝敷司）

▼各政党の政見を聞いて、もっと政治・政党に興味を持つことが出来てよかったですと思います。テーマの2つは、どこの政党に聞いてもほぼ同じだったので、ある意味実現しやすいテーマだったのかなと思います。また、自分の考えですが、何故議員になろうと思ったの

か、趣味とかも聞いて、議員という一人の人間と話して魅力を感じれるような意見会でもいいと思いました。

また、基地問題や学力向上など沖縄県には改善すべき点が多くあると思うので、もっとテーマを広くしたら面白い政見発表会になったのではないのでしょうか。今回このような機会に参加でき、政治の関心が強くなったと思います。ありがとうございます。来年もぜひ参加したい！（上原聖也）

▼研修に初めての参加だったが、各政党の人たちの意見を聞くことができ良かった。沖縄の問題にどういう意見をもっているか、どう取り組んでいくかということを一方的にではなく、研修生の話を聞いた上で、話してくれたのが良かった。問題への考え方、取り組み方等を聞くというのも、政治への関心を持つきっかけになるし、選挙の際、どこに投票するのかの参考にもなる。

ワークショップでは、自分で街づくりをする際、どういう話が必要になってくるか、簡単にではあるが分かった。実際には、もっと多くの話、条件等がでてくるとは思うがいい経験になった。（伊佐知剛）

▼普段、政治にふれる機会はまったくないのに、この2日間は学べることが多くて、いい2日間は送れたなと思いました。

各政党の意見を聞いたことで、自分がこれまで関心がなかった問題への意見も聞けたし、その政党の個性も見れたりできたかなと思いました。沖縄を変えていくのは、政党や議員さんだけじゃなくて、国民にもその仕事はあるし、それができるというのを、この時間を感じました。

ワークショップは、マニフェストを決めて、そこから町づくりを初めていくことで、マニフェストの大事さというのも学んだし、国民のことも考えながら、町づくりをするのは、本当に難しいことだなと感じました。

このワークショップや、各政党の意見が聞けたことで、私自身、政治に関して少し興味がでてきたなと感じました。この研修で学んだことを今後活かし、選挙権を持ったら、必ず選挙に参加しようと思いました。（富原琴乃）

#### ▼〈各政党の意見を聞く時間〉

テーマ②の若者失業率についての政党発表の際「ミスマッチ」や「大企業にしか目を向けない」という話がありました。

まず、1点目の「ミスマッチ」についてですが、企業のこと、仕事のことをよく知らないままの就職が離職率の高さにつながっていると思います。また、これらに関連あると考えられるが、12月からの「就活開始時期」と、キャリア教育を担う教員が社会・企業を知る機会が少ないことが挙げられると思います。これらについて意見を聞いてみたかったです。

また、「大企業にしか目を向けない」については、「子どもの頃から知っている企業」と言い換えることができると思います。私は、友人が、就活をしている後ろからくっついていき、一緒に企業研究をしました。今まで関わりのなかった仕事や企業を知る機会にな

りました。

〈ワークショップについて〉

いい教材がいただけたなと思いました。子ども達と楽しく授業ができる姿が目に見えようでした。簡単ではありますが、ワークショップすごく面白かったです。（宮城沙紀）

▼今回このような会に参加するのは初めてだが、政見発表やまちづくりシミュレーションゲームなど、若者にとってはとてもよい会だと思う。政見発表では、普段政党の話の聞いたり、自分の思いや考えなどの意見を伝える機会が全くない。それが若者の政治への関心が低くなることにつながっていると思う。政見を聞いて、このような会が普段から身近にあればよいと感じた。まちづくりシミュレーションゲームにおいては、まちづくりというのは、みんなで案や意見を出し合ってまちを形成していくものだと思った。一人一人案や意見が違うけど最終的にはみんなが納得するまちが出来上がる。まちづくりにおいては、総意が大事だと感じた。食事をしながらの交流会は、役場の方や選管の方と話が来て、公務員を目指す私にとっては勉強になった。リーダー研修会に参加して本当に良かったです。（喜友名貴弘）

▼私は2ヶ月前に20歳になり、選挙権を持った立場で初めて選挙について考えました。

初日の山崎さんの未成年模擬選挙の話は、同世代の若者が選挙について、どのような意見を持っているか、また、模擬選挙の意義・効果を知ることができ、未成年であっても選挙について考えることは大切・必要であると感じました。

また、政見発表会では各政党の話の聞き、今までは議員さんが、どんなことを考えているのか何も知らないままだったけど、こんなにも県民のことを考え、政策を練っているんだと驚いたと同時に、嬉しかったです。

まちづくりは、2日間にわたって、グループで議論・発表し、1票の大切さ・重さを身を持って実感しました。まちは一人で作るものではなく、みんなで作るものなんだなと感じました。

2日間、このような貴重な体験を与えて下さって本当にありがとうございました。

（玉城萌子）

▼今回リーダー研修会に参加してとても勉強になった。

政党の方々の話を聞くことはあまりないし、意見をきけるということはさらに政治に対して関心がわいた。各政党の方々は自分の考えをしっかりともち、とって町のことを考えていると思ったが、財政上や県民の考えなどいろいろな問題があり、足踏み状態ではないかとも思った。しかし、県をかえるという気持ちが伝わり、協力したいとも思った。このような機会を若者に増やすと、もっと政治に関心をもつ人が増え、投票率もあがると思う。

ワークショップでは、山崎さんのお話を聞いて、模擬選挙を進めるメリットを学んだ。私達にもこのような機会があればよかったと考える。選挙を楽しく行うということは、若者の投票率UPにもつながるし、元から行こうという考えの人には、政治のことを理解し、行けるというメリットもあると思う。（佐久川麻菜美）

▼政治家の皆さん、地域の問題について非常に深い知識をもっていた。その知識を住民と共有できる場をもっと増やすべき。議員と住民のネットワークを強めることが、住民の政策に対する知識が豊かになり、有権者意識が生まれ、それが投票率向上につながる。

ワークショップのまちづくりシミュレーションでは、全員の意見が一致したときのよろこびを感じることができた。最初からあきらめることなく、とことん話し合えば、政治も前に進むのではないかと感じた。まちづくりに自分の意見を投票で示すことにより、参加者意識ができ、積極的に関わることができた。（宮良祐太）

▼今回、青年リーダー研修会に参加してみてより一層選挙に対して興味がわきました。

本研修で一番印象に残っているのは、町のシミュレーションゲームでした。有権者の一票を我が町に投票してもらう為にグループで意見を出し合っただけでなく、それを住民に理解してもらう。この体験を通して自分が持っている一票の重さを感じることができたし、また、行政がいい町づくりを計画しても、私たち住民が協力しなければ何も変わらないと思うので、これからはもっと政治について勉強し、いい判断ができる人になりたいです。

二日間とてもよい体験になりました。ありがとうございます。（与那嶺翔太）

▼新しく選挙をする人達に選挙の意味や大切さを教えるいい研修会だったと思います。また、現役議員さん達との意見交換や直接話ができる場があるのはとてもいいと思います。

（宮良貴秋）

▼若者の政治への関心、参加意識がうすれている実情とその要因。

子供の頃、よく耳にするニュースはとてつねにわかりづらく汚職のニュースばかりのイメージでした。子供番組で子供にわかりやすい政治の番組等作れば、より身近に、よりわかりやすくなり、政治に関して意識が変わってくると思います。まず、私達大人が政治に関しての意識を変えていかなくてはいけないと思います。

今回の研修で、教育の場で政治に関する取り組みの必要性を改めて感じました。ありがとうございます。（本若美音）

▼リーダー研修というめったにない、すばらしい経験をすることができた。全く接点のない離島から市町村までグループになり、話し合いをして、一人一人の意見をしっかり聞き、さらに自分の意見をいうことで、良い緊張感もあった。

各政党の意見を聞き、質問することで、政党の考え方も分かりましたし、自分達の意見を直に言うこともできた。

リーダー研修を通して、選挙の大切さを学ぶことができた。これからも、もっと、新聞やニュースなど政治について目を向けて、自分の意見を持っていきたいと思った。自分の市町村にも関心をもっていきたい。選挙にもしっかり参加をして、周りにも声をかけて、投票率をあげていきたいと思った。（神里雄一）

▼今回の研修を通して、政治に対して今までより関心を持てるようなきっかけになったと感じた。今、日本や沖縄では投票率の低さ、国民・県民の政治に対する関心のなさや、無知であるために低下してしまっているのが現状だが、このような研修会や模擬投票などをもっと多くの人が知り、参加していくことで、投票率の低下はよくなるのではないかと思った。今回の経験を活かし、今後の人生、大学生活、就職活動でもがんばりたいと思った。  
(金城里夏)

▼私はこの研修で、政治について、国民一人一人がもっと関心をもって自分が思っている意見を、どんどん発言していくことの大切さを知りました。

山崎さんのお話ででてきた、アメリカで実施されている選挙の際に子ども模擬選挙投票箱を設置しているという話を聞き、これはとてもおもしろいものだと思います。有権者になってしっかりと投票所に行くかどうかは、小さい頃からの親の教育が大きく関わってくるのだと思います。小さい頃から、親と投票所に行く習慣をつけていけば必ず有権者になった際にもしっかりと投票することだと思います。

また、政見発表会ではこれまで政治家と国民は離れていて遠いものだと思っていましたが、私達の意見が直接政治家の皆さんに伝わるのが実感出来たので、とても良かったです。このような機会がもっと増えることを期待しています。(島袋裕也)

▼オリエンテーションもなくいきなりのスタートに感じた。委員の簡単なあいさつから流れるように始まり、長時間の模擬選挙の話は寒くつかれた。

講座の「本物」に触れれば心は動く。そのための未成年模擬選挙」では、未成年の頃からの選挙への関心を持たせることに共感した。

昼食、みんな初顔の中での食事は緊張した。食事はおいしかった。量が少ない。

政見発表会では、照屋先生の話が長い。島袋さんの声が大きい。各先生方持ち帰りの話が多かった。

ワークショップのアイスブレイクでチームが決まった。緊張もあってワクワクした。まちづくりゲームでは、家族収入から考えられ、公共の場をつくるにあたり、税収のバランスも考えられ、いろいろな事を考えた。(屋嘉部景介)

▼今回の研修では、まちづくりシミュレーションゲームからの途中参加になってしまいましたが、シミュレーションゲームをとおして町民のことを理解して町づくりを行うのは、すごい難しいことだとすごく感じました。なので、住民の方にもこういった事を理解していただくと、投票者の方も増えていくのではないかと思いました。

研修を終えて、たくさん学ぶことがあって大変勉強になりました。ありがとうございます。(山内宰)

▼今回の沖縄県リーダー研修会は、二日間という短い間でしたが、とても私達の為になることばかりでした。

まず、「模擬選挙推進ネットワーク」代表の山崎武昭さんの講話は、投票権を持つ前に、投票について関心を持ってもらう為に、高校生や小・中学生などに投票についての授業(模

擬投票)を行っていたりしてとてもすごいと思いました。投票率の低下は、政治不信などの原因もあると思いますが、若者の選挙離れがとても大きな問題だと思うので、今回の講話で一票の大切さを学びました。また、「日本版ボードマッチ」などがあることも初めて知りました。

政見発表会では、7つの政党の議員さんと直接関わることができてとても貴重な体験ができてとても良かったです。

研修生で、学生である佐久川さんが、大学までのバス賃が非常に高いという意見に対して、とても親身になって考えてくれたので、とても良かったです。こういった議員さんと若者との交流を、これからも積極的に行うことによって、とても良い沖縄県になっていくと思いました。

そして最後に「町づくりシミュレーション」を行いました。一票の大切さを改めて実感することができました。

今回のリーダー研修に参加することができてとても良かったです。また、これからの生活に活かしていきたいと思います。(平良かおり)